



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫■

「叶えられた祈り」

ニューヨークのリハビリテーションの施設に一人の患者が詩を残している。先日、説教準備をしている中で、祈りが聞かれるとは何なのかを模索していたとき、この詩に触れ、この詩のもつ祈りの世界の深さを知らされたのである。

大きなことを成し遂げるために

力を与えて欲しいと神に求めたのに

謙遜を学ぶようにと 弱さを授かった

偉大なことができるように健康を求めたのに

よりよきことをするようにと 病気を賜った

幸せになろうとして富を求めたのに

賢明であるようにと 貧困を授かった

世の人の賞賛を得ようとして成功を求めたのに

得意にならないようにと 失敗を授かった

求めたものは一つとして与えられなかったが

願いは すべて聞きとどけられた

神の意に添わぬ者であるにもかかわらず

心の中の言い表せない祈りは すべて叶えられた

私は 最も豊かに祝福されたのだ

この詩についてノートルダム清心学園理事長の渡辺和子は次のように言う。

「かつて健康を願い、成功と賞賛を求めたこの人の祈りは、このような形で応えられたのであった。つまり、私が変わえられることこそが本当の祈りではあるまいか。こちらの思うままに神を動かすのではなく、神の思うままに動くことなのだ。『求めよさらば与えられん』というみ言葉は決して、求めたものが与えられると約束してはいない。私たちは往々にして“欲しいもの”を願っているが、神が与え給うのは、私たちが“必要としているもの”であり、そこに神の愛がある。それを祝福と受け取ること、それが真の祈りではないだろうか」

詩篇六五篇に「祈りを聞かれる方よ、すべての肉なる者は罪のゆえにあなたに

来る」(2~3)というダビデの祈りがある。神をこのように呼ぶことができたのは、彼の罪が赦されたという経験からなのだろう。祈りとは私たちを変え神の

み業であり、そのような祈りを主は叶えてくださる。それが私たちに最善であり、

信じる者に与えられた特権である。これを、神をして祝福という。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

